

てあり單に五十萬圓の分配が「兩團體一任」となつて居る。

コレで前二者の説く所が完全に轉落したので都竹氏は、
金比羅權現建設地の土工々事に失業海員が救濟されて居るから其條件に抵觸しないと、
コレに理由付けたが、ソレなら何故に始めから其主張を押し通さなかつたのであらふか
註 海員協會々員中此土工々事で救濟された者は無いジツだ。

◎役員選舉問題

今回の役員選舉が公正に行はれたかの質問に常務理事が明快に然りと答へた。聯盟側は親權者の証明迄讀み上げて其不正の点を數々上げたが、常務理事は「左様の事は知らぬ」と答へた。

又授職部就職の會員を動員して投票掻き集めをやつたのは何故かと迫れば、ソレナ事はしないと云ふ。

此常務理事の答辨を自ら顧みて慚怍たる授職部就職會員の何十人か何百人かあらふ。

◎屋島丸遭難問題

屋島丸に關する聲明書を中心とする質問應答は實に面白いものであつた。事件直後の茶話會に於いて、

海員協會は聲明書を出さない。

新聞紙が勝手に書いた。

ソレならナゼ取消しを求めぬか?

取消さすには金が入るが、ソレ迄する事もないから其儘にして居る。

と常務理事と會員の間に應酬があつたと傳えられて居るので各新聞記者は三齊に耳を傾けて居つたが此席では

聲明書は出さないが、一問一答の形式で新聞記者と話しをした。

ソレは聲明ではないか。

マーソーです。

ソレなら茶話會に於て答へたのと全然チガウではないか。

茶話會でソレな事を云ふた覺えはない。